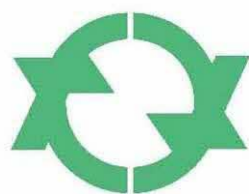


大竹市橋梁長寿命化修繕計画



令和8年5月改定

(平成25年3月策定)

大 竹 市

土 木 課

目 次

1. 老朽化対策における基本方針.....	3
1.1 背景	3
1.2 目的（目標）	4
1.3 基本方針	4
1.4 計画の期間	4
1.5 橋梁箇所数	4
1.6 管理する主な橋梁.....	5
1.7 点検と診断	6
1.7.1 定期点検.....	6
1.7.2 健全性の診断.....	7
1.8 老朽化の状況	8
1.8.1 管理する主な橋梁.....	8
1.8.2 主な損傷事例.....	9
1.9 修繕等措置の着手状況.....	10
1.10 対策の優先順位.....	11
1.10.1 優先順位.....	11
1.10.2 橋梁の分類(グループ分け).....	12
1.10.3 管理水準.....	13
2. 新技術の活用	14
2.1 方針	14
2.2 目標	14
3. 費用の縮減に関する具体的な方針.....	15
3.1 方針	15
3.1.1 予防保全型の維持管理への移行.....	15
3.1.2 集約化・撤去、機能縮小.....	15
3.2 目標	15
3.2.1 予防保全型の維持管理への移行.....	15
4. フォローアップ	16
5. 個別の構造物ごとの事項.....	16

1. 老朽化対策における基本方針

1.1 背景

現在、管理している道路橋は、高度経済成長期からバブル期にかけて多く建設されています。現在、約7割の橋梁が建設後50年を経過し、今後急速に老朽化が進行する見込みです。そのため計画的に適時適切な維持補修を実施しなければ集中的に大規模な補修や架替が必要となり、今後大きな財政負担が必要になると予想されます。

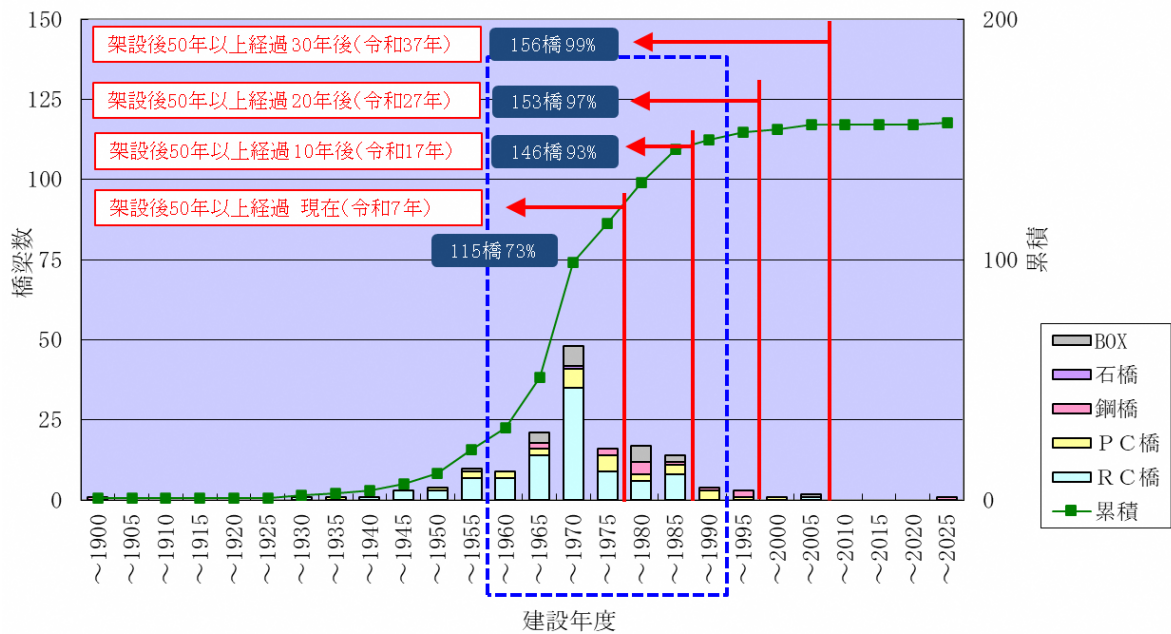


図 1-1 橋梁架橋年度別数

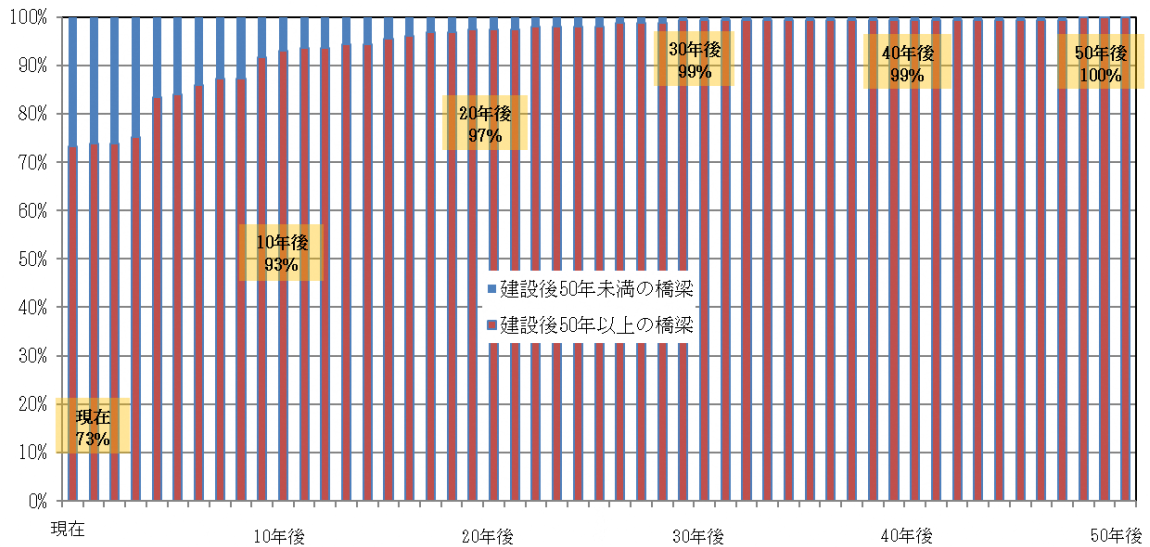


図 1-2 建設後50年以上の橋梁数比率
(令和8年3月末現在の平均供用年数 55.2年)

1.2 目的（目標）

アセットマネジメントの考え方を導入し、従来の「事後保全型の維持管理」から、定期点検により橋梁の状態を把握し、点検結果に基づく補修を計画的に行う「予防保全型の維持管理」を実施することで、橋梁の長寿命化を図り、維持管理及び更新費用の縮減と平準化を図るとともに、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保を図ります。

1.3 基本方針

定期点検の点検結果により評価された健全度から修繕が必要な橋梁を優先順位に基づき選定したのち、新技術を活用する等、LCCを含めた費用比較により適切な修繕方法または更新を決定し、修繕等を実施します。

なお、定期点検の結果から、「IV判定」となった橋梁は、早期に対策が必要なため、速やかに修繕等を実施します。

また、道路利用者および第三者への被害が懸念される損傷が発見された場合には、健全度にかかわらず、速やかに修繕等を実施します。

1.4 計画の期間

橋梁長寿命化修繕計画の計画期間は5年(令和8年度～令和12年度)とします。

1.5 橋梁箇所数

管理している道路橋は157橋（橋長2m以上）あります。

上部工の使用材料別にみると、コンクリート橋(PC橋、RC橋)が約79%、鋼橋が約10%、石橋が約1%、BOX（溝橋）が約10%を占めています。

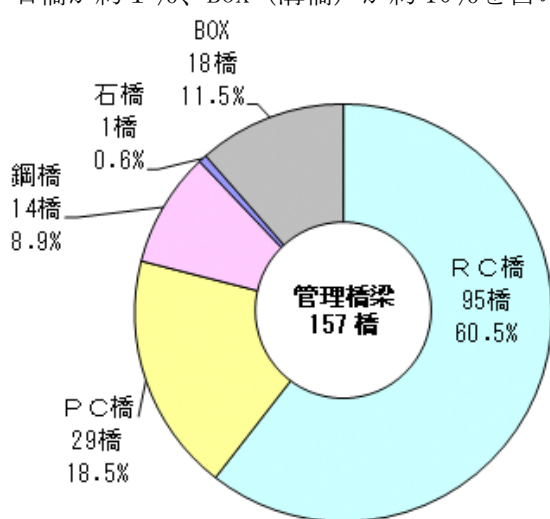


図 1-3 橋種別橋梁数
(全橋梁数 157 橋)

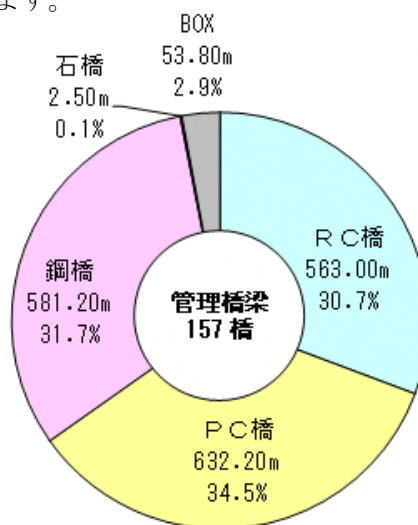


図 1-4 橋種別橋梁延長
(全橋梁延長 1,832.7m)

表 1-1 管理する橋梁数

道路種別	現況 (令和8年3月末現在)	
1級市道	橋梁数	34橋
2級市道	橋梁数	26橋
その他市道	橋梁数	97橋
		橋梁数 157橋

1.6 管理する主な橋梁



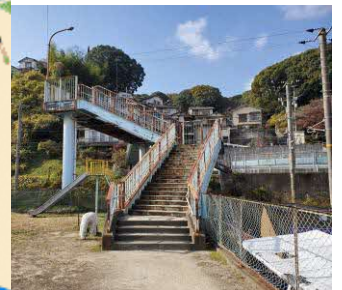
安条1号橋 (鋼橋)
L=48.0m 1979年架設



玖波9号線1号橋 (RC橋)
L=66.1m 1985年架設



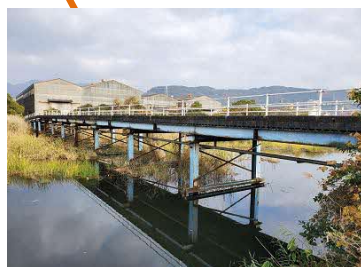
神田橋 (PC橋)
L=40.1m 1990年架設



城山陸橋 (鋼橋)
L=41.4m 1964年架設



大和橋 (PC橋)
L=107.6m 1997年架設



小島橋 (鋼橋)
L=95.0m 1991年架設



小方橋 (PC橋)
L=24.8m 1982年架設

1.7 点検と診断

橋梁点検は、日常点検、定期点検、異常時点検、追跡調査、詳細調査に分類しています(表 1-2)。定期点検(5年に1回の実施を基本)により、橋梁の健全度を確認します。

表 1-2 橋梁点検の種類

点 検	内 容
日常点検	日常パトロールによる簡易点検。軽微な損傷を把握する。
定期点検	橋梁の各部材について点検を行い、橋梁部材の損傷状況を把握し今後の対策を決定するために行われる。5年に1回を基本とする。
異常時点検 (臨時、緊急)	地震時や異常気象等によって橋梁が予期せぬ状況にさらされた場合に実施する。
追跡調査	橋梁にひびわれや塗装等の進行性のある損傷や、橋梁について経時的な変化を確認したい場合に実施する。(5年以内の期間)
詳細調査	定期点検等で異常が見つかった橋梁について、各種試験等を実施して損傷の状態をより精度良く把握するために行われる。損傷の原因を追求して補修・補強工法を検討するために実施される。

※ 広島県橋梁維持管理検討委員会報告書(平成19年3月)より

1.7.1 定期点検

定期点検は、広島県橋梁定期点検要領に基づいて実施を行います。定期的に実施する点検を通じて橋梁の変状や劣化の兆候を把握することを目的とします。定期点検で実施する点検項目は、橋梁の損傷度を定量的に評価できるものとし、基本として近接目視で確認するものとします。

定期点検では損傷状況を定期点検調書に記録し、点検結果に基づいて損傷区分の判定を行います。この損傷区分により維持管理の対策区分を判定し、詳細調査または補修等の判断を行います。



橋梁定期点検状況

1.7.2 健全性の診断

定期点検では、部材単位での健全性の診断を行います。構造上の部材等の健全性の診断は、表 1-3 の判定区分により行うことを基本とします。なお、部材単位の診断は、構造上の部材区分あるいは部位ごと、損傷種類ごとに行います。

道路橋ごとの健全性の診断は、道路橋単位で総合的な評価を行います。部材単位の健全度が道路橋全体の健全度に及ぼす影響は、構造特性や架橋環境条件、当該道路橋の重要度等によっても異なるため、総合的に判断する必要があります。

表 1-3 省令に基づく健全性の診断区分

省令に基づく健全性の診断区分		
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

1.8 老朽化の状況

1.8.1 管理する主な橋梁

定期点検を実施した橋梁のうち、補修を行う必要ない「Ⅰ判定」が32%を占めている一方、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である「Ⅱ判定」が55%、早期に措置を講ずべき状態である「Ⅲ判定」が13%を占めています。（令和8年3月末現在）。

また、建設経過年数別にみると、年数が長くなるにつれて、早期に修繕などの措置が必要な橋梁の割合が多くなっていく傾向にあります。（図1-6）

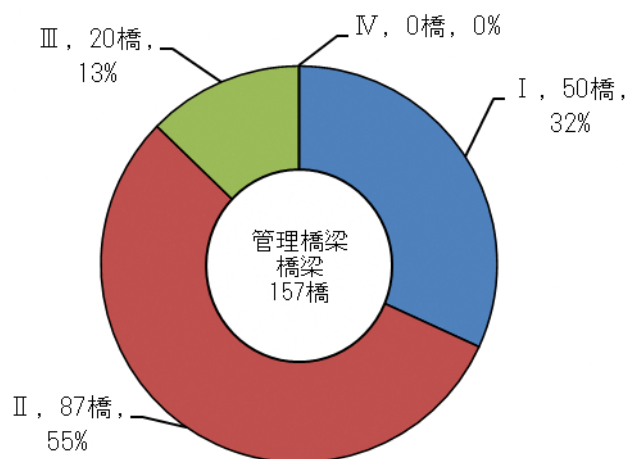


図1-6 定期点検結果に基づく健全性

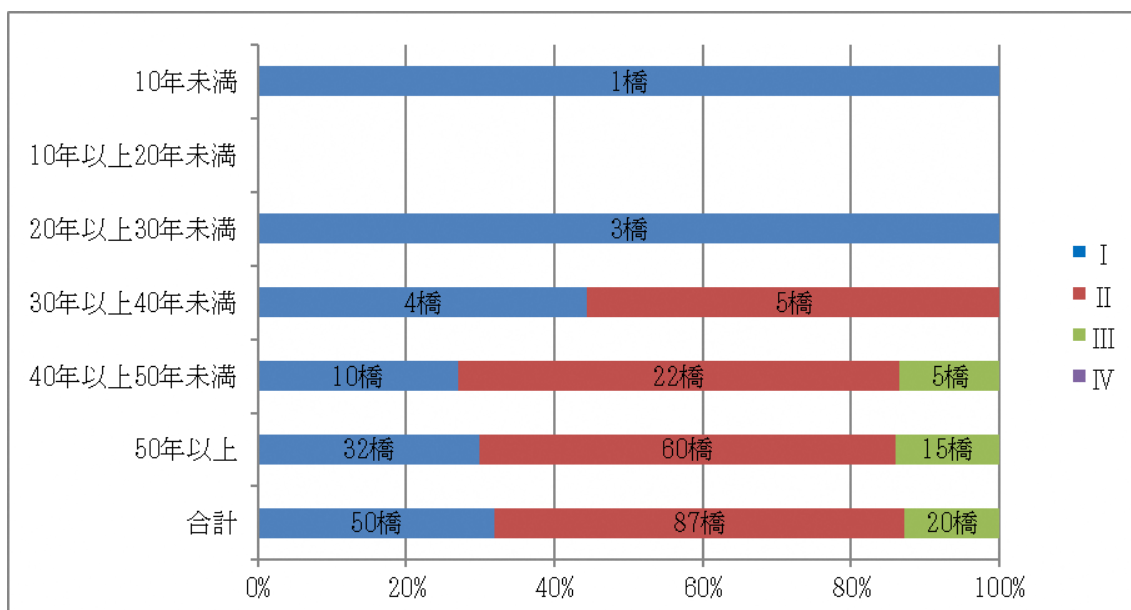


図1-6 判定区分と建設経過年数

1.8.2 主な損傷事例

確認された主な損傷事例は次のとおりです。

主な損傷事例



主桁の腐食
城山陸橋



横桁の腐食
向田橋（歩道）



主桁の鉄筋露出
無名橋



コンクリートの浮き
小栗林3号線1号橋



コンクリート床版の鉄筋露出
谷尻橋



コンクリート橋台のひび割れ・剥離・浮き
恵川橋

1.9 修繕等措置の着手状況

過去に行った主な対策内容は次のとおりです。

【鋼橋：ケレン・塗装塗替等】 玖波 30 号線 1 号線



【コンクリート橋：断面修復等】 新町橋



1.10 対策の優先順位

1.10.1 優先順位

対策優先順位は、以下のルールにより設定します。

- ① 管理水準で設定した診断区分を下回る橋梁
- ② 診断区分が同じ場合は、以下に示す管理区分の順
管理区分 グループ 1→グループ 2→グループ 3→グループ 4→グループ 5 の順
- ③管理区分が同じ場合は、以下に示す道路種別の順
道路種別 1 級市道→2 級市道→その他市道
- ④すべて同じ場合、表 1-4 の項目に示すポイントの大きい順

表 1-4 橋梁優先度ポイント

項 目	ポイントの考え方
バス路線	該 当：25 ポイント 非該当：ポイントなし
迂回路の有無	有 ：ポイントなし 無 ：25 ポイント
ライフラインの添架	該 当：25 ポイント 非該当：ポイントなし

1.10.2 橋梁の分類(グループ分け)

管理している橋梁には、小規模な橋梁から大規模な橋梁、跨道橋、跨線橋など、多様な種類の橋があります。限られた予算でこれらを一括して管理することは効果的でないため、利用者及び第三者に与える社会的影響が大きい橋梁、災害時の安全な通行を確保すべき橋梁、補修工事が大規模・高額な橋梁の場合等、橋梁の重要度や復旧の容易さ等の特性により表 1-5 のように管理区分のグルーピングを行い、グループごとに管理水準を設定しています。

表 1-5 橋梁の管理区分 (グルーピング) (道路橋 157 橋)

		重 要 度		
		跨線・跨道橋 ・渡海橋	1・2級市道	その他道路
復 旧 の 容 易 さ	吊り橋や斜張橋等の 特殊橋梁・長大橋	グループ 1 1 橋	グループ 2 1 橋	グループ 3 1 橋
	橋長が 5m 以上の 橋梁	グループ 2 3 橋	グループ 3 22 橋	グループ 4 43 橋
	その他	グループ 3 1 橋	グループ 5 36 橋	グループ 5 49 橋

※橋長 100m以上の橋梁を長大橋と設定する。

○幹線 1 級及び 2 級市町村道の選定(昭和 55 年 3 月 18 日 建設省道地発第 18 号)

1 級市町村道の基準…地方生活圏の基幹的道路網を形成するために必要な道路

- ①都市計画決定された幹線街路
- ②戸数 50 戸以上の主要集落相互を連絡する道路(主要集落とは 50 戸以上をいう)
- ③主要集落と主要交通施設、主要公益的施設または主要生産施設を連絡する道路
- ④主要交通施設、主要公益的施設、主要生産施設または主要観光地の相互間において密接な関係を有するものを連絡する施設
- ⑤主要集落、主要交通施設、主要公益的施設、または主要観光地と密接な関係にある国道、県道、1 級市町村道を連絡する道路
- ⑥大都市または地方開発のために特に必要な道路

2 級市町村道の基準…国道、県道、1 級市町村道を補完し基幹道路網の形成に必要な道路

- ①都市計画決定された補助幹線道路
- ②25 戸以上の集落相互を連絡する道路
- ③集落と主要交通施設、主要公益的施設または主要な生産の場を連絡する道路
- ④集落と密接な関係にある国道、県道、1 級市町村道とを連絡する道路
- ⑤大都市または地方開発のために必要な道路

1.10.3 管理水準

管理水準は、予防保全、事後保全、要監視の3通りとしています。（表1-6）

- ① 「Ⅰ判定」は、早急に補修する必要がなく定期点検を実施、あるいは要監視
- ② 「Ⅱ判定」及び「Ⅲ判定」は、交通に支障はないが損傷が進行しているため、補修を検討・実施する予防保全
- ③ 「Ⅳ判定」は、著しい損傷が発生しているため早急に架替え・更新等の大規模補修対策を実施する事後保全

表 1-6 橋梁の診断区分とグループごとの管理水準

省令に基づく 健全性の診断区分		管理水準・目標（維持管理手法）				
		グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4	グループ 5
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
		要監視				
Ⅱ	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	予防保全 補修検討・実施	予防保全 補修検討・実施	予防保全 補修検討・実施	予防保全 補修検討・実施	定期点検
Ⅲ	道路橋の機能に支障が生じる恐れがあり、早期に措置を講ずべき状態。					
Ⅳ	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる恐れが著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。					

要監視…必要に応じて追跡調査等を実施し、補修検討・補修等を実施する。

2. 新技術の活用

2.1 方針

維持管理に係るコスト縮減等に取り組むため、2巡目の定期点検からすべての橋梁で「広島県長寿命化技術活用制度」の登録技術や国土交通省の「点検支援技術性能カタログ（案）」（令和3年10月）に記載されている新技術、新技術情報提供システム（NETIS）の登録技術等の活用を検討し、コストの縮減を図ります。

2.2 目標

1巡目の定期点検で橋梁点検車及び高所作業車を使用した橋梁（管理橋梁の約2割）については、新技術の活用を重点的に検討し、令和12年度までの5年間で約3.5百万円のコスト縮減を目指します。

修繕工事においても、コンクリート造の橋梁（管理橋梁の約8割）については、コスト縮減が図れる有効な新技術は積極的に採用します。

3. 費用の縮減に関する具体的な方針

3.1 方針

3.1.1 予防保全型の維持管理への移行

事後保全型の維持管理から予防保全型の維持管理に移行することにより、中長期的な修繕費用の縮減を図ります。

3.1.2 集約化・撤去，機能縮小

社会経済情勢や施設の利用状況等の変化に応じた適正な配置のための集約化・撤去、機能縮小を適宜検討します。う回路が存在する橋梁や、近接する橋梁と集約が可能な橋梁について、令和12年度までに1橋を集約化・撤去します。令和12年度までの5年間の維持管理費用（点検費用約0.4百万円、補修費用約3百万円）のコスト縮減を目指します。

3.2 目標

3.2.1 予防保全型の維持管理への移行

今後60年間の橋梁維持管理を、事後保全型から予防保全型に移行し、橋梁の長寿命化を図ることにより、約37億円のコスト縮減が見込まれ、ライフサイクルコスト(LCC)が縮減できます。

また、年度毎の維持管理費用を平準化させることで、財政に集中的な負担をかけません(図3-1)。

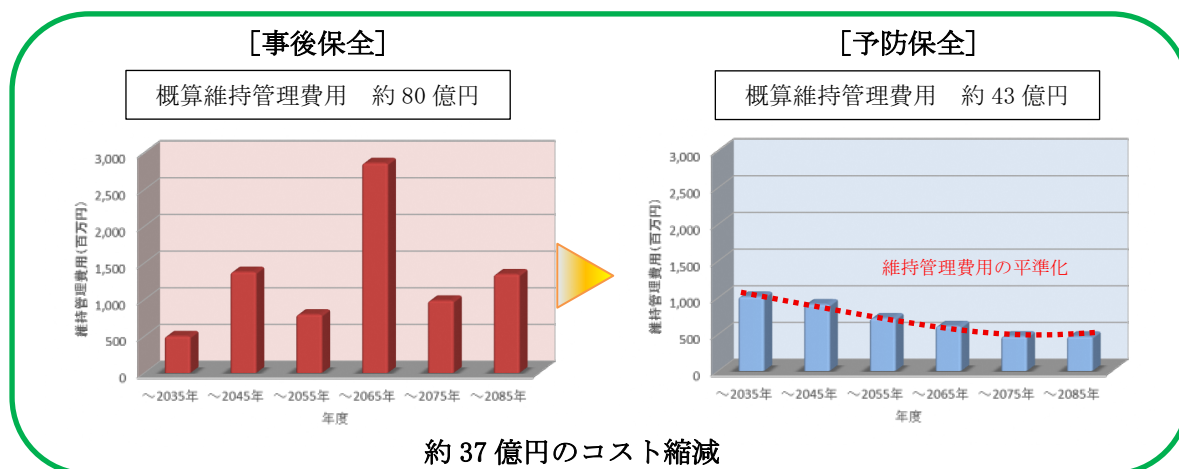


図10-1 コスト縮減効果グラフ

4. フォローアップ

定期点検により毎年新たに発見される変状に対しては、適宜見直し(フォローアップ)を行います。

また、定期点検結果及び補修工事履歴をデータベースである「アセットマネジメントシステム」に反映させ、施設の適切な維持管理を行います。

5. 個別の構造物ごとの事項

定期点検後の健全度評価、劣化予測、ライフサイクルコストの算定、対策優先順位等を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画一覧を別表に示します。

橋梁名	路線名	所在地	橋種	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設 年度	点検 年度	診断 区分	点検・補修等計画												補修内容 (主な措置 内容) 【予定】		
									○定期点検(予定)						●定期点検完了 ■補修等工事(完了)								
									R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	△調査設計	□			
城山陸橋	小方16号線	小方1丁目	鋼橋	41.4	2.0	1964	2021	Ⅲ	●					■	□	□							塗装塗替等
小方橋	玖波青木線	御園1丁目	P C 橋	24.8	15.0	1982	2020	Ⅲ						●	□							○	ひび割れ注入 断面修復等
向田橋(歩道)	玖波中学校線	玖波5丁目	鋼橋	28.6	1.9	1964	2020	Ⅲ						●	□							○	塗装塗替等
大谷橋	小栗林4号線	栗谷町小栗林	P C 橋	19.8	5.6	1982	2021	Ⅲ	●						□	○							ひび割れ注入 断面修復等
白石7号線1号橋	白石7号線	白石1丁目	R C 橋	3.4	8.6	1964	2024	Ⅲ					●		□							○	ひび割れ注入 断面修復等
松ヶ原3号線3号橋	松ヶ原3号線	松ヶ原町	R C 橋	3.0	5.5	1979	2022	Ⅲ		●				■	□	○							ひび割れ注入 断面修復等
前飯谷1号橋	前飯谷線	前飯谷	鋼橋	18.5	8.3	1978	2021	Ⅲ	●						○	△	□						塗装塗替等
玖波30号線3号橋	玖波30号線	玖波5丁目	R C 橋	12.5	4.4	1973	2021	Ⅲ	●						○	△	□						ひび割れ注入 断面修復等
小栗林3号線1号橋	小栗林3号線	栗谷町小栗林	R C 橋	10.7	3.9	1950	2021	Ⅲ	●					●	△	□						○	ひび割れ注入 断面修復等
駅前油見線1号橋	駅前油見線	新町1・油見3丁目	R C 橋	3.0	15.6	1964	2020	Ⅲ						●	△	□						○	ひび割れ注入 断面修復等
無名橋	八丁3号線	大竹市	R C 橋	17.0	5.0	1979	2021	Ⅲ	●						○	□							ひび割れ注入 断面修復等
小栗林後原線2号橋	小栗林後原線	栗谷町後原	R C 橋	3.0	5.5	1964	2020	Ⅲ						●		□						○	ひび割れ注入 断面修復等
大迫谷尻線13号橋	大迫谷尻線	廿日市市大野町	R C 橋	2.1	3.2	1968	2022	Ⅲ		●						○	□						ひび割れ注入 断面修復等
大迫谷尻線14号橋	大迫谷尻線	廿日市市大野町	R C 橋	2.0	3.2	1968	2022	Ⅲ		●						○	□						ひび割れ注入 断面修復等
大迫谷尻線11号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	4.2	3.9	1968	2022	Ⅲ		●						○	□						ひび割れ注入 断面修復等
南栄1号線1号橋	南栄1号線	南栄1丁目	鋼橋	17.3	1.5	1968	2025	Ⅲ							○	△	□						塗装塗替等
恵川橋	明治新開唐船浜線	玖波1丁目	R C 橋	31.4	6.1	1929	2023	Ⅲ					●			△	○	□					ひび割れ注入 断面修復等
立戸11号線1号橋	立戸11号線	立戸2丁目	R C 橋	2.5	3.7	1964	2024	Ⅲ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
豊年橋	本町白石2号線	白石1丁目	R C 橋	3.5	5.9	1938	2024	Ⅲ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
北栄新町1号線1号橋	北栄新町1号線	油見3丁目	R C 橋	4.1	7.9	1955	2024	Ⅲ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
神田橋	玖波9号線	玖波5丁目	P C 橋	40.1	7.1	1990	2024	Ⅱ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
大竹港線1号橋	大竹港線	東栄1・2丁目	BOX	4.0	9.3	1955	2024	Ⅱ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
湯舟橋	黒川湯舟線	黒川2丁目	P C 橋	15.6	7.0	1948	2024	Ⅱ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
樋門橋	東栄中市線	西栄2・東栄1丁目	R C 橋	5.6	15.5	1964	2024	Ⅱ					●			△	□	○					ひび割れ注入 断面修復等
明治新開大人原線1号橋	明治新開大人原線	玖波4・5丁目	R C 橋	8.5	3.0	1960	2024	Ⅱ					●				△	○	□				ひび割れ注入 断面修復等
北小島大竹港橋	北小島大竹港線	北栄	鋼橋	15.4	2.6	1975	2021	Ⅱ	●					●			△	□	○				塗装塗替等
大迫谷尻線15号橋	大迫谷尻線	廿日市市大野町	R C 橋	6.4	4.0	1968	2021	Ⅱ	●					●			△	□	○				ひび割れ注入 断面修復等
明治新開大人原線2号橋	明治新開大人原線	玖波5丁目	R C 橋	5.5	2.2	1975	2021	Ⅱ	●					●			△	□	○				ひび割れ注入 断面修復等
八丁川橋	八丁2号線	安条	鋼橋	25.0	6.6	1980	2024	Ⅱ					●				△	○	□				塗装塗替等
土石川橋	大人原1号線	玖波町大人原	R C 橋	9.8	6.8	1950	2024	Ⅱ					●				△	○	□				ひび割れ注入 断面修復等
安条1号橋	安条2号線	大竹市	鋼橋	48.0	10.7	1979	2021	Ⅱ	●						○		△	□					塗装塗替等
油見13号線1号橋	油見13号線	油見2丁目	R C 橋	2.0	2.8	1979	2023	Ⅱ					●				○	△	□				ひび割れ注入 断面修復等
正本橋	三ツ石1号線	三ツ石町	R C 橋	10.7	4.7	1964	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
大迫谷尻線2号橋	大迫谷尻線	玖波町大迫	R C 橋	5.0	7.1	1968	2022	Ⅱ		●						○		△	□				ひび割れ注入 断面修復等
中比作橋	比作1号線	比作	P C 橋	10.3	3.6	1960	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
松ヶ原1号線1号橋	松ヶ原1号線	松ヶ原町	P C 橋	8.4	4.6	1964	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
大畑橋	松ヶ原3号線	松ヶ原町	R C 橋	8.7	4.9	1945	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
谷尻橋	嵐谷奥谷尻線	大竹市	R C 橋	5.5	5.0	1964	2020	Ⅱ						●	■			△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
清水上橋	大迫1号線	玖波町大迫	R C 橋	3.2	4.4	1945	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
松ヶ原2号線1号橋	松ヶ原2号線	松ヶ原町	R C 橋	4.1	4.0	1945	2020	Ⅱ						●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
橋ノ木橋	御園3号線	御園2丁目	P C 橋	16.9	4.7	1970	2021	Ⅱ	●						○			△	□				ひび割れ注入 断面修復等
神原橋	三ツ石1号線	三ツ石町	P C 橋	12.0	4.8	1973	2021	Ⅱ	●					●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
後飯谷1号線1号橋	後飯谷1号線	後飯谷	R C 橋	6.0	7.4	1975	2021	Ⅱ	●					●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
西栄21号線1号橋	西栄21号線	西栄2丁目	R C 橋	6.1	8.3	1970	2021	Ⅱ	●					●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
東栄3号線1号橋	東栄3号線	東栄1丁目	R C 橋	6.5	4.3	1975	2021	Ⅱ	●					●				△	○	□			ひび割れ注入 断面修復等
玖波29号線1号橋	玖波29号線	玖波町	R C 橋	10.5	7.1	1981	2021	Ⅱ	●						○			△	□				ひび割れ注入 断面修復等
玖波青木線4号橋	玖波青木線	大竹市	R C 橋	4.1	16.7	1973	2021	Ⅱ	●						○			△	□				ひび割れ注入 断面修復等
白石6号線1号橋	白石6号線	白石2丁目	R C 橋	2.0	6.3	1964	2021	Ⅱ	●						○			△	□				ひび割れ注入 断面修復等
黒川小方2号線2号橋	黒川小方2号線	黒川2丁目	P C 橋	3.5	4.5	1976	2023	Ⅱ					●				○		△				ひび割れ注入 断面修復等
立戸10号線1号橋	立戸10号線	立戸1・2丁目	R C 橋	2.4	1.9	1968	2023	Ⅱ					●				○		△				ひび割れ注入 断面修復等

橋梁名	路線名	所在地	橋種	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設 年度	点検 年度	診断 区分	点検・補修等計画												補修内容 (主な措置 内容) 【予定】		
									○定期点検(予定)						●定期点検完了								
									□補修等工事(予定)						■補修等工事(完了)								
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	△調査設計													
新御園橋	立戸御園1号線	御園1丁目	P C橋	23.3	7.5	1985	2022	II		●					○						△		
松ヶ原4号線1号橋	松ヶ原4号線	松ヶ原町	R C橋	6.0	3.8	1955	2020	II						●								○△	
立戸山手線2号橋	立戸山手線	立戸1丁目	鋼橋	9.1	5.0	1979	2021	II	●					●								○△	
中市塚歩道橋	元町瀬田線	山口県和木町	鋼橋	102.8	3.5	1992	2010	II							○							△	
加計橋	元町木野線	元町4丁目	R C橋	6.3	7.2	1960	2020	I					■	●								○△	
飯谷橋	前飯谷1号線	前飯谷	鋼橋	23.5	6.7	1988	2024	II					●								○	△	
東栄中市線1号橋	東栄中市線	南栄3・東栄2丁目	R C橋	3.0	8.0	1965	2022	II		●				■	○							△	
東栄中市線3号橋	東栄中市線	油見2丁目	R C橋	4.5	17.8	1968	2022	II		●						○						△	
南栄大竹港線1号橋	南栄大竹港線	南栄3・西栄3丁目	R C橋	2.4	9.2	1970	2022	II		●					○							△	
東栄中市線7号橋	東栄中市線	南栄3丁目	R C橋	2.5	8.1	1970	2022	II		●					○							△	
飛石黒川線1号橋	飛石黒川線	小方1・2丁目	R C橋	2.2	5.6	1968	2022	II		●					○							△	
玖波青木線3号橋	玖波青木線	立戸2丁目	BOX	2.5	15.9	1968	2021	II	●						○							△	
大迫谷尻線4号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C橋	2.3	10.8	1968	2022	II		●					○							△	
大迫谷尻線9号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C橋	2.7	5.4	1968	2022	II		●					○							△	
大栗林小栗林1号線2号橋	大栗林小栗林1号線	栗谷町小栗林	R C橋	3.0	7.8	1984	2022	II		●					○							△	
新町1号線1号橋	新町1号線	新町1丁目	R C橋	4.7	6.6	1955	2021	II	●					●								○△	
白石元町1号線1号橋	白石元町1号線	元町1丁目	R C橋	2.0	3.6	1964	2021	II	●						○							△	
油見9号線1号橋	油見9号線	油見2丁目	R C橋	2.2	3.4	1979	2023	II				●				○						△	
登里橋	小栗林後原線	栗谷町後原	P C橋	25.8	4.7	1971	2024	II					●								○		
川本橋	玖波21号線	玖波6丁目	P C橋	25.2	5.6	1967	2024	II				■	■									○	
松ヶ原1号線2号橋	松ヶ原1号線	松ヶ原町	R C橋	6.4	4.3	1964	2023	II				●				○							
玖波青木線2号橋	玖波青木線	油見3丁目	P C橋	4.9	16.2	1970	2024	II					●									○	
本町元町1号線1号橋	本町元町1号線	本町2丁目	R C橋	3.7	3.8	1968	2023	I				●				○							
玖波30号線1号橋	玖波30号線	玖波5丁目	鋼橋	27.6	4.8	1973	2024	II	■				●									○	
大屈橋	大栗林小栗林1号線	栗谷町大栗林	P C橋	27.0	4.4	1935	2024	II					●									○	
前淵橋	防鹿3号線	防鹿	P C橋	51.0	2.1	1959	2022	II								○							
能保里橋	大栗林小栗林2号線	栗谷町小栗林	R C橋	38.0	4.5	1946	2023	II					●				○						
東栄中市線6号橋	東栄中市線	本町2丁目	R C橋	2.4	18.0	1968	2023	II					●				○						
大和橋	東栄中市線	本町2丁目	P C橋	107.6	16.8	1997	2021	I	●						○								
下黒川橋	黒川7号線	黒川3丁目	P C橋	18.2	6.8	1968	2024	II					●									○	
大樋筋1号橋	北栄西栄1号線	西栄2丁目	R C橋	5.1	5.6	1960	2024	II					●									○	
松本裏橋	東栄中市線	油見2丁目	R C橋	2.1	6.1	1968	2023	II					●			○							
唐船浜1号線1号橋	唐船浜1号線	玖波3丁目	BOX	4.0	9.0	1979	2023	II					●				○						
大樋橋	西栄東栄1号線	東栄1丁目	P C橋	11.1	4.0	1978	2021	II	●					●									○
玖波30号線2号橋	玖波30号線	玖波5丁目	R C橋	12.5	4.4	1973	2024	II			■	■	●	■								○	
南栄東栄1号線1号橋	南栄東栄1号線	南栄3丁目	R C橋	2.8	3.6	1975	2022	I		●						○							
恵川大橋	玖波青木線	玖波6丁目	P C橋	36.8	16.8	1990	2022	I		●					○								
玖波中学校線1号橋	玖波中学校線	玖波4・5丁目	BOX	3.0	7.6	1964	2024	II					●									○	
南栄東栄線1号橋	南栄東栄線	南栄3丁目	BOX	2.5	11.7	1964	2024	II					●									○	
小栗林浅原線2号橋	小栗林浅原線	栗谷町小栗林	BOX	3.8	14.0	1968	2023	II					●				○						
立戸山手線1号橋	立戸山手線	立戸3丁目	R C橋	2.8	6.6	1979	2023	II					●				○						
立戸山手線4号橋	立戸山手線	立戸3丁目	BOX	2.1	6.1	1979	2023	II					●				○						
小栗林後原線1号橋	小栗林後原線	栗谷町小栗林	R C橋	2.6	2.2	1968	2023	II					●				○						
立戸21号線1号橋	立戸21号線	立戸3丁目	R C橋	4.1	5.9	1968	2023	II					●				○						
玖波1号線1号橋	玖波1号線	黒川1丁目・玖波1丁	R C橋	4.8	10.9	1968	2023	II					●				○						
新町元町1号線1号橋	新町元町1号線	本町1丁目	R C橋	2.5	5.8	1975	2023	II					●				○						
極楽橋	本町5号線	本町1・2丁目	R C橋	2.6	2.9	1960	2021	II	●							○							
本町白石1号線1号橋	本町白石1号線	白石1丁目・油見1丁	BOX	2.9	8.2	1968	2023	II					●				○						
西栄本町1号線1号橋	西栄本町1号線	本町1丁目・新町3丁	R C橋	2.5	3.6	1968	2023	II					●				○						
北栄5号線1号橋	北栄5号線	北栄	BOX	2.8	11.0	1964	2021	I	●						○								

橋梁名	路線名	所在地	橋種	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設 年度	点検 年度	診断 区分	点検・補修等計画												補修内容 (主な措置 内容) 【予定】		
									○定期点検(予定)						●定期点検完了								
									R3	R4	R5	R6	R7	R8	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
北栄南栄1号線1号橋	北栄南栄1号線	西栄1丁目	R C 橋	3.6	7.4	1960	2021	II	●					■	○								
北栄南栄1号線2号橋	北栄南栄1号線	西栄1丁目	R C 橋	2.7	10.9	1964	2021	II	●						○								
南栄19号線1号橋	南栄19号線	南栄3丁目	R C 橋	2.4	5.7	1970	2022	II		●					○								
立戸14号線1号橋	立戸14号線	立戸3丁目	R C 橋	2.5	6.2	1984	2023	II			●					○							
立戸油見1号線1号橋	立戸油見1号線	油見2丁目	R C 橋	4.2	6.2	1984	2022	II		●					○								
黒川1号線1号橋	黒川1号線	黒川2丁目	R C 橋	3.7	11.4	1968	2023	II			●					○							
大栗林小栗林1号線1号橋	大栗林小栗林1号線	栗谷町小栗林	R C 橋	2.7	4.9	1984	2022	II		●					○								
松ヶ原4号線2号橋	松ヶ原4号線	廿日市市大野町	R C 橋	2.8	3.7	1955	2021	II	●						○								
港橋	大竹港線	東栄1・2丁目	R C 橋	6.7	8.7	1975	2021	II	●				●									○	
前飯谷川橋	前飯谷線	前飯谷	鋼橋	15.0	4.8	1981	2022	I		●					○								
立戸8号線1号橋	立戸8号線	立戸1丁目	R C 橋	3.9	2.4	1981	2023	I			●					○							
大竹駅自由通路	新町西栄線	西栄1丁目	鋼橋	114.0	4.0	2023	2024	I				●										○	
宮久保橋	小栗林浅原線	栗谷町小栗林	P C 橋	13.7	10.3	1994	2022	I		●					○								
唐船浜団地線1号橋	唐船浜団地線	玖波町・玖波7丁目	BOX	2.4	15.1	1968	2023	I			●					○							
東栄中市線5号橋	東栄中市線	白石2丁目・元町1丁	BOX	2.8	15.7	1968	2023	I			●					○							
大迫谷尻線3号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	BOX	3.4	9.0	1968	2022	I		●						○							
大迫谷尻線5号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	2.6	3.3	1968	2022	I		●						○							
大迫谷尻線7号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	2.1	3.2	1968	2022	I		●						○							
御園出合橋	御園1号線	御園2丁目	P C 橋	23.8	7.2	1975	2022	I		●					○								
大迫谷尻線10号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	4.6	4.3	1968	2022	I		●						○							
大迫谷尻線12号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	2.9	4.0	1968	2022	I		●						○							
玖波8号線1号橋	玖波8号線	玖波5丁目	R C 橋	2.0	2.2	1968	2022	I		●						○							
立戸3号線1号橋	立戸3号線	立戸4丁目	P C 橋	4.7	6.0	1968	2022	I		●						○							
玖波9号線1号橋	玖波9号線	玖波5丁目	R C 橋	66.1	7.2	1985	2024	I				●										○	
小島橋	東栄6号線	東1丁目	鋼橋	95.0	4.4	1991	2024	II		■	■	●										○	
落合橋	松ヶ原5号線	松ヶ原町	P C 橋	12.5	4.9	1970	2022	I		●						○							
中市立戸線1号橋	中市立戸線	油見2・3丁目	R C 橋	4.9	6.5	1970	2022	I		●						○							
御園3号線1号橋	御園3号線	御園2丁目	R C 橋	3.4	9.2	1968	2022	I		●						○							
黒川橋	玖波青木線	黒川3丁目	P C 橋	19.8	16.8	1986	2022	I		●						○							
北栄1号線1号橋	北栄1号線	北栄	P C 橋	7.2	6.2	1955	2021	I	●					●								○	
御幸橋	北栄4号線	北栄	P C 橋	14.8	13.5	1973	2021	I	●					●								○	
二井橋	元町木野線	木野1丁目	R C 橋	4.5	5.8	1962	2024	I		■		●										○	
前飯谷後飯谷1号線1号橋	前飯谷後飯谷1号線	前飯谷	P C 橋	9.4	4.8	1955	2021	I	●					●								○	
東栄中市線4号橋	東栄中市線	白石1丁目	BOX	2.6	12.0	1979	2023	I			●					○							
向田橋	玖波中学校線	玖波5丁目	P C 橋	27.1	5.8	1964	2024	II				●										○	
立戸山手線3号橋	立戸山手線	立戸2丁目	BOX	2.4	7.5	1979	2023	I			●					○							
本流橋	西栄東栄2号線	西栄2・3丁目	R C 橋	4.4	10.4	1955	2024	I				●	■	■								○	
寿橋	立戸油見2号線	油見3丁目・立戸1丁	R C 橋	4.1	7.8	1979	2023	I			●						○						
西栄東栄1号線1号橋	西栄東栄1号線	西栄1丁目	R C 橋	3.4	5.7	1984	2022	II	●							○							
黒川10号線1号橋	黒川10号線	黒川3丁目	BOX	2.2	8.0	1979	2022	I		●						○							
御園橋	御園2号線	御園2丁目	P C 橋	16.9	4.8	1973	2021	I	●							○							
唐船浜団地7号線1号橋	唐船浜団地7号線	玖波町	BOX	2.0	5.0	1984	2022	I		●						○							
玖波10号線1号橋	玖波10号線	玖波4・5丁目	BOX	5.5	60.0	1984	2021	I	●				●									○	
小方20号線1号橋	小方20号線	小方ヶ丘	R C 橋	12.5	16.0	2001	2024	I				●										○	
東栄2号線1号橋	東栄2号線	東栄1丁目	BOX	2.9	5.7	2004	2022	I		●						○							
唐橋	西栄東栄2号線	南栄2・3丁目	R C 橋	2.3	11.1	1955	2020	I				■	●									○	
白石1号線1号橋	白石1号線	白石1丁目	R C 橋	4.8	4.5	1955	2021	I	●					●								○	
立戸小島新開線1号橋	立戸小島新開線	東栄1丁目・北栄	R C 橋	6.5	6.5	1959	2022	I		●					○								
大迫谷尻線6号橋	大迫谷尻線	玖波町谷和	R C 橋	2.2	3.2	1968	2022	I		●						○							
南栄18号線1号橋	南栄18号線	南栄3丁目	R C 橋	2.5	11.1	1960	2022	I		●						○							

橋梁名	路線名	所在地	橋種	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設 年度	点検 年度	診断 区分	点検・補修等計画												補修内容 (主な措置 内容) 【予定】					
									○定期点検 (予定)						●定期点検完了							補修内容				
									□補修等工事 (予定)						■補修等工事 (完了)											
△調査設計												R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
玖波3号線1号橋	玖波3号線	玖波1丁目	R C 橋	3.6	6.7	1968	2023	I				●														
新町橋	飛石黒川線	御園1丁目	R C 橋	18.8	4.9	1970	2024	II				■	●■													
玖波32号線1号橋	玖波32号線	玖波1丁目	R C 橋	6.0	5.0	1970	2024	I					●													
西栄東栄2号線1号橋	西栄東栄2号線	東栄1丁目	R C 橋	5.2	6.3	1964	2024	I					●													
本町6号線1号橋	本町6号線	本町2丁目	R C 橋	2.5	5.7	1968	2023	I				●														
白石2号橋	白石5号線	白石1・2丁目	R C 橋	2.2	7.0	1968	2023	I				●														
本町白石3号線1号橋	本町白石3号線	本町2丁目	石橋	2.5	2.9	1968	2023	I				●														

※補修等工事前には、調査設計を行い詳細な補修方法を決定するため、一覧表の補修内容等は変更になる場合があります。

※補修工事等の予定箇所については、今後の定期点検や補修の実施状況、補修技術の進展、財政事情や社会情勢の変化等を反映し、適宜見直します。

※前淵橋については、現時点では管理橋梁ではありませんが、令和9年度から共同管理する予定であるため、本計画に含めています。

※南栄1号線1号橋（仮称）については、現時点では市道橋梁ではないが、令和8年度中に市道認定する予定であるため、本計画に含めています。